



J-BILAT Newsletter
No. 7
October 2010



J-BILAT 月刊ニュースレター 第7号 (2010年10月)

目次	page
1. ニュース	
1.1 ERC の助成を受けた研究者がノーベル物理学賞受賞	3
1.2 昨年公募分の Ideas プログラムの給付対象者決定	3
1.3 マリーキュリープログラム IRSES、CIG、COFUND の公募開始	3
最近の催し	
1.4 第4回セミナー「医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文」、2010年10月26日、神戸	4
今後の関連する催し	
1.5 第5回セミナー「情報通信 (ICT) 及び航空分野での日欧研究協力の可能性」11月11日、 仙台	6
2. 訂正	7
3. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介 その7: BrainTrain	7
4. 公募情報	10
4.1 太陽光発電に関するNEDOとFP7の共同公募	10
4.2 超伝導に関するJSTとFP7の共同公募	10
4.3 環境分野でのJSTのマッチングファンド (戦略的国際科学技術協力 推進事業に基づく EUとの「環境」分野に関する研究交流の支援)	11
4.4 その他、日本からの応募が可能なFP7公募	12
5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い	16
6. 欧州連合加盟国紹介 その2 ルクセンブルク大公国	17



(写真提供:ルクセンブルク経済通商省 東京貿易事務所)

1. ニュース

1.1 ERC の助成を受けた研究者がノーベル物理学賞受賞

欧州研究評議会 (ERC) の管轄する FP7の中で一番新しいプログラム、「アイデア (Ideas)」の若手向けの助成 (Starting Grant、学位取得後 2 ~ 12 年の方が対象) の第一期目の受給者からノーベル賞が出ました。Konstantin Novoselov 教授(マンチェスター大学)は興味深い性質を持つ二次元物質グラフェンの発見と研究により、大学院生時代から一緒に研究をしてきた Andre Geim 教授と共に受賞をされました。36歳での快挙でした。二人は2004年のグラフェン発見により、2008年にも Europhysics Prize を受賞、Science に載った原論文 (Science 306 (2004) pp. 666 - 669) はこれまでに3000回以上も引用され、近年最も引用の多かった論文の一つとされています。

1.2 昨年公募分の Ideas プログラムの給付対象者決定

「アイデア

」は昨年が3度目の公募でしたが、10月19日に若手向けの助成 (Starting Grant、学位取得後 2 ~ 12 年の方が対象) の427名の受給決定者が発表されました。このうち域外から応募の研究者は18名、うち12名はアメリカからヨーロッパに戻るヨーロッパ人研究者だそうです。物理・工学分野及び生命科学分野で各一名、日本人らしき方のお名前も見受けられます。助成の規模は5億8千万ユーロ、昨年に比べて40%の増加となっています。詳しい情報や統計は、以下の資料をご覧ください。

http://erc.europa.eu/pdf/ERC_Press_release_StG2010_results.pdf

1.3 マリーキュリープログラム IRSES、CIG、COFUND の公募開始

人材 (People) 部門では、夏の個人で応募できる IIF の公募(受付終了)、現在応募可能な ITN や IAPP といった仕組みに加え、欧州にて安定した職を得る事に繋げる目的の CIG、助成機関を対象とした COFUND、及び日本の研究機関にとって最も利用しやすいと思われる International Research Staff Exchange Scheme (IRSES) の公募が10月20日に出されました。IRSES プロジェクトには以下の特徴があり、機関ごとに応募するタイプのプログラムです。

- 少なくとも2つの欧州研究機関と、近隣国もしくは科学技術協力協定を締結している国からの1つ以上の機関の間での人材交流(日本も対象)
- 2~4年間のプロジェクト

- 相互の交換プログラムによる研究者、事務官、技官等の派遣
- 研究者ごと、プロジェクト期間中に計1年を上限として人材交流

詳細は以下のウェブサイトから公募書類等をダウンロードしてお読みください。ニュースレター末尾の公募情報の欄に現在出ている公募の一覧がありますのでご参考にしてください。

公募番号 FP7-PEOPLE-2011-IRSES

締め切り 2011年3月7日、17時(ブリュッセル時間)

http://cordis.europa.eu/fp7/dc/index.cfm?fuseaction=UserSite.FP7DetailsCallPage&call_id=382

最近行われた催し

1.4 第4回セミナー「医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文」、10月26日、神戸

第4回セミナーは、EUインスティテュート関西の後援の元、神戸の TRI 臨床研究情報センターにて開催しました。まずは全体講演で EU インスティテュート関西の久保広正代表及び海洋研究開発機構の北里 洋 海洋・極限環境生物圏領域長に各機関の欧州連携の取り組みをご紹介頂いた後、奈良先端科学技術大学院大学 産官学連携推進本部の八浪 公夫 氏に医療・バイオテクノロジー分野で欧州と共同研究を考える際の知的財産面での留意点についてお話を頂きました。

ネットワーキングを兼ねた休憩の後、医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文分野の二分科会に別れ、欧州との共同研究開発に携わっている研究者による以下のような事例報告がありました。

グループ1 医学・バイオテクノロジー

司会:ダグラス・シップ 氏(理化学研究所神戸研究所)

- 仙石 慎太郎 氏 (京都大学 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS))
「欧州地域における国際・産学・学際連携の取り組み:京都大学世界トップレベル研究(WPI)プログラム・物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)における事例」
- ピエロ・カルニンチ 氏 (理化学研究所)
「FP7: 日本はヨーロッパに近い」
- 浅田 孝 氏 (財団法人 先端医療振興財団 クラスタ推進センター)
「欧州バイオクラスターと関西広域バイオクラスターとの国際連携について」

グループ2 社会科学・人文関連

司会:久保 広正 氏(神戸大学大学院経済学研究科)

- 平川 秀幸 氏(大阪大学コミュニケーションデザインセンター)
「事例報告—食品リスク評価方針の国際比較研究」
- 杉谷 眞佐子 氏(関西大学・外国語学部 外国語教育学研究科)
「言語力育成のための国境を越えた基準枠<Common European Framework of Reference for Languages>—学术交流の基礎を考える」
- 上原 史子 氏(成蹊大学法学政治学研究科)
「EUの安全保障政策研究から見る日欧協力の可能性～地球環境問題を中心に～」

報告に引き続き、質疑応答と日欧協力をどう進めるか、またどのようなハードルが存在するか、また J-BILAT ひいては欧州委員会や日本の助成機関に期待される役割等について、簡単な議論をしていただきました。

分科会の後、再び全員に会していただき、J-BILAT より、FP7 の概要とプロジェクトの活動および支援内容の紹介をしました。

参加者数29名は前回までよりも少なかったのですが、異なる分野の方々による講演や日欧連携をどう推進できるかの議論は非常に有益なものでした。講演資料は以下のサイトからダウンロードが可能です。

http://www.j-bilat.eu/seminar/seminar_4



今後の関連する催し

1.5 第5回セミナー「情報通信(ICT)及び航空分野での日欧研究協力の可能性」11月11日、仙台

次回のセミナーは、情報通信(ICT)及び航空分野の二本立てで、日欧連携の可能性を探ります。二分野に加え、人材交流・キャリア形成支援のマリーキュリープログラムもご紹介する予定です。ウェブからのご参加登録は11月初めに開始致しますし、メールでのご参加申し込みは随時可能です。関連分野の皆様幅広いご参加を歓迎致します。

J-BILAT第5回セミナー「情報通信(ICT)及び航空分野での日欧研究協力の可能性」

1. 対象: 公的研究機関および企業の研究者、助成団体関係者など80-100名
2. 日時: 2010年11月11日(木) 13:30 ~ 17:30 (受付開始13:00)
3. 会場: 東北大学片平さくらホール(仙台) 交通案内等の詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/sakura/newpage1.html>
4. 参加費及び参加登録:
参加は無料ですが、事前登録をお願いしています。オンライン登録(<http://www.j-bilat.eu/registration-seminar>)は11月2日より開始予定、もしくは氏名(ふりがな及びアルファベット)、所属(和名・英名)、役職(和名・英名)、電話番号、メールアドレスをご明記の上、以下の担当者までお申込み下さい。当日空きがあれば会場での登録も可能です。
(プロジェクトマネージャー 市岡利康、Email: toshiyasu.ichioka@eu-japan.gr.jp)
5. 予定されている講演例:
情報通信分野事例報告
太田 信 氏(東北大学 流体科学研究所)「欧州研究枠組みを利用して」
航空分野事例報告
板原 寛治 氏 (社)日本航空宇宙工業会 国際部長航空における日欧協力について
大林 茂 氏 東北大学 流体科学研究所「日本の航空科学技術の研究ポテンシャルについて」
全体講演
清水 和子 氏 日本学術振興会 国際事業部 研究協力第一課 「日本学術振興会の取り組み(仮題)」
市岡 利康 「FP7 特に「人材」分野の概要と J-BILATプロジェクトによる日本からの参加促進及び支援」

最新版のプログラムは以下のウェブサイトに随時掲載します。

http://www.j-bilat.eu/seminar/seminar_5

2. 訂正

第6号の日本の機関が関わった欧州プロジェクトにてご紹介した CAPSIL プロジェクトの記事中に誤りがありましたので、お詫びと訂正を致します。配信したバージョン(V 1.0) の写真の脚注ですが、「2009年10月 NICTでのミーティング(関連研究の相互紹介と議論)(写真提供: 橋本 周司氏)」が正しいものです。現在 J-BILAT ウェブからダウンロードできるバージョン(V1.1)では既に訂正済みです。

3. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介その7

BrainTrain プロジェクト



プロジェクト名	Integrative neuroscience school on brain function and disease
短縮名	BrainTrain
契約番号	238055
プロジェクト開始日	2009年11月1日
期間	48ヶ月
助成金	3,320,000 ユーロ
ウェブサイト	http://www.brain-train.nl/

第7回は、マリーキュリーのプロジェクト、BrainTrain (Integrative neuroscience school on brain function and disease) を取り上げます

プロジェクトは「Networks for Initial Training (ITN)」という種類のもので、他のマリーキュリープログラムとは違い、特に大学院在籍中の学生のキャリア形成に主眼を置いたものです。

コーディネータの

Vereniging voor Christelijk Hoger Onderwijs Wetenschappelijk Onderzoek en Patientenzorg (アムステルダム、オランダ)

を中心とする8つの欧州の優れた研究機関、

Leibniz-Institut für Neurobiologie (マゲデブルグ、ドイツ)

Institut Pasteur (パリ、フランス)

Karolinska Institutet (ストックホルム、スウェーデン)

Universitaetsklinikum Heidelberg (ハイデルベルグ、ドイツ)

Scuola Internazionale Superiore di Studi Avanzati (トリエステ、イタリア)

University College London (ロンドン、イギリス)

VIB (ルーベン、ベルギー)

及び

日本から理化学研究所のピエロ・カルニンチ (Piero CARNINCI) ユニットリーダー (オミックス基盤研究領域・L S A 要素技術開発グループオミックス資源開発ユニット) のグループ

4つの営利団体

Beactica AB, スウェーデン

Synaptologics BV, オランダ

VIB vzw, ベルギー

BIOobserve GmbH, ドイツ


と欧州神経科学連合学会 (the Federation of European Neuroscience Societies; FENS) が集まってネットワークが結成されました。

脳疾患、特に神経変性疾患 (neurodegenerative disease) や精神疾患は最も広く見られる慢性の衰弱性疾患であり、平均寿命が伸びる中、人々が社会生活を行う際に支障となっています。これに立ち向かうには、数々の遺伝要素や環境要因を統合的に捉え、遺伝子やタンパク質レベルから神経細胞レベルまでを統合して扱える力をもつ次世代の神経科学者の養成が鍵となります。プロジェクトが狙っているのは正にこの点です。

予算措置は各パートナーに対してほぼ均等にされており、日本からの参加機関、理化学研究所にも予算がついています。2010年5月に雇用され、現在博士号に取り組んでいる1人の博士号の学生の教育のために使われています。

カルニンチ氏は、このプロジェクトに関わることになったのは研究上のつながりからだと言います。氏は Telethon (イタリア) の外部審査委員会の一人ですが、その中にアムステルダムのVU大学の教授である Peter Heutink 氏もおられました。彼らは研究についても議論をし、氏が理化学研究所で開発した技術であるCAGE (the cap-analysis gene expression) を使用して、脳内で活性化した遺伝子の転写を制御するプロモーター遺伝子をマッピングするため、共同研究を開始しました。また、患者、特に認知症やアルツハイマー病のような神経変性疾患の患者の脳を研究するためにこのCAGE技術を利用したいと考えておられます。BrainTrain プロジェクトは、学生に神経変性について共同研究する機会を与える素晴らしいものであり、これまでの成功に基づいて、更に助成金を得てプロジェクトを拡大できることを期待されているそうです。

欧州との共同研究にあたっての困難については、カルニンチ氏は地理的な距離は大きな問題ではないと見ておられるようです。電話会議やスカイプのような安価(もしくは無料)なビデオストリーミング技術を使うコミュニケーション方法は数多く存在します。



日本とヨーロッパ中央部との間には7～8時間の時差がありますが、日本の夕方、ヨーロッパの朝に会議をすることにより、時間的なロス無くプロジェクトを進められます。またお互いに訪問し合ったり、国際会議の場で実際に会って話をする事もあります。この意味で、ヨーロッパとの仕事は例えばアメリカの東海岸との仕事よりもし易いと言えます。

カルニンチ氏に依れば、問題を感じたのは教育プログラムを正式に定義する際のみだそうです。理化学研究所では当然多くのコースやセミナーが開かれていますが、これらは公式に組織されている訳でもなく、ウェブサイトで情報が見られることもあまりありません。ITN用の教育プログラムのために、理化学研究所が多くの教育活動を行っている事を示すのには時間がかかったそうです。

もう一つ困難だった点は日本の大学システムに関係していること。博士課程への入学時期は各大学によって決まっており、学生に奨学金を出す欧州プロジェクトのスケジュールとは関係がありません。また、入学に際しては、欧州プロジェクトの開始時期とは無関係な試験に合格する必要があるため、資金があって候補となる学生がいても、日本の大学で受け入れてもらう事ができませんでした。結局、ヨーロッパの大学に籍を置く事で解決されたそうです。

また、氏はこのようなプロジェクトに参加する利点は明らかだと言います。「3年間に渡りすべての学費を支給され、エネルギーのすべてを共同研究から得られるデータから知識を引き出すことに使える学生がいる事、こうした若く有能な学生が研究の先端を切っていくということは、研究所やヨーロッパの共同研究者にとっても大きな財産です。データから意味のある知識を引き出し、共著論文や知的財産の共有に繋がります。我々がFP7の複数の助成を受けている事で理化学研究所の外部資金室も徐々に国際化してきています。これは研究所が更に国際化する事につながり、国際舞台で競争力を保つために大きな利点となります。

国際協力研究に参加するにあたって気をつけなければならない事は、ITNのような助成は個人でなく機関に与えられるもので、共同研究をするという側面に相応のエネルギーが割かれる必要があると理解する事です。各研究者の創造性を殺さず、かつプロジェクトの枠組みに個人的な学問の自由を適応させる事が肝要です。そのためには、助成研究のアイデアと計画に本心から賛同する研究者を選ぶ事が最重要であり、選抜が上手く行けば素晴らしい成果が期待できます。」

Carninci氏の詳しい研究内容につきましては、以下のリンクをご参照ください。

http://genome.gsc.riken.jp/osc/english/members/Piero_Carninci.html

4. 公募情報

7月20日に出された公募については、順次締め切りが来ております。

4.1 太陽光発電に関するNEDOとFP7の共同公募

「高効率集光型太陽電池セル、モジュール及びシステムの開発(日EU共同開発)」

日本からの参加機関は、NEDOに応募することになります。以下のNEDOサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/FF/nedokuobo-place.2008-03-13.7286786756/nedokuobo.2010-07-07.8259663304/>

締め切り：平成22年11月25日

なお、この公募に関し、NEDOによる説明会が7月30日に開催されました。

またご参考までに、欧州側プロジェクトに対する公募は以下のようになっています。

Type	Identifier	Deadline (Brussels local time)	Themes involved	Comments
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-JAPAN	25 November 2010 at 17:00	Energy	A proposal submitted to the European Commission (EC) will be eligible only if co-ordinated with a Japanese proposal submitted in parallel to the Japanese New Energy and Industrial Technology Development Organization (NEDO). This coordination should be balanced in terms of the R&D efforts deployed by the EU and Japan respectively. Guidance to applicants on Coordination Agreement is given in the Information Package. Proposals may be selected for funding only on the condition that their coordinated Japanese proposal is also selected for funding by NEDO. Proposed projects will have a maximum duration of 42 months and must end at the latest by February 28th 2015.

4.2 超伝導に関するJSTとFP7の共同公募

戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)「超伝導(superconductivity)」に関わる日-EUの研究者による共同研究課題

日本からの参加機関は、JSTに応募することになります。以下のJSTサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_eujoint.html

締め切り：平成22年11月17日(水)

欧州側の機関に対する公募は以下のようになっています。

Type	Identifier	Deadline (Brussels local time)	Themes involved
Cooperation	FP7-NMP-2011 EU-Japan	17 November 2010 at 17:00 (Brussels local time)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies

4.3 環境分野でのJSTのマッチングファンド

戦略的国際科学技術協力推進事業に基づく EUとの「環境」分野に関する研究交流の支援環境関連の以下の公募課題に基づくプロジェクトへの日本からの参加機関に対する助成で、3年間で2,250万円を上限として研究交流のための委託研究費を受けられます。日本からの参加機関は、プロジェクトのパートナーとしての欧州委員会への応募とともに、JSTへの応募もすることになります。以下のサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_eu3rd.html

締め切り：平成22年11月19日(金)もしくは平成23年2月2日(公募による)

プロジェクトは、以下の FP7 の公募課題のいずれかに対応している必要があります。

1. Improvement of the representation of critical climate processes in climate and Earth system models (ENV.2011.1.1.1-1)
2. The impact of atmospheric pollution on European land ecosystems and soil in a changing climate (ENV.2011.1.1.2-1)
3. Climate forcing of non UNFCCC gases, aerosols and black carbon (ENV.2011.1.1.2-2)
4. Vulnerability of Arctic permafrost to climate change and implications for global GHG emissions and future climate (ENV.2011.1.1.3-1)
5. Impacts of climate and land use changes in the Amazon (ENV.2011.1.1.5-1)
6. Combined exposures to environmental agents: integrated approaches to evaluate environment-health relationships in children (ENV.2011.1.2.2-1)
7. Lagoons in the context of climate change (ENV.2011.2.1.1-1)
8. Hydromorphology and ecological objectives of WFD (ENV.2011.2.1.2 -1)
9. Behaviour of ecosystems, thresholds and tipping points (ENV.2011.2.1.4-2)
10. Marine microbial diversity – new insights into marine ecosystems functioning and its biotechnological potential (OCEAN.2011-2)
11. Natural water systems and treatment technologies to cope with water shortages in urbanised areas in India (ENV.2011.3.1.1-2)
12. Integration and optimisation of information for building a Global Carbon Observing System (ENV.2011.4.1.1-1)
13. Inter-operable integration of shared Earth Observations in the Global Context (ENV.2011.4.1. 3-1)
14. Promoting conifer genomic resources (KBBE.2011.1.1-01)
15. Integrated approach to studying effects of combined biotic and abiotic stress in crop plants (KBBE.2011.1.1-02)
16. Root signalling, growth and development under abiotic stress conditions (KBBE.2011.1.2-05)

17. Plant photosynthetic efficiency: from a C3 to a C4 system (KBBE.2011.3.1-01)
18. BioWASTE - Novel biotechnological approaches for transforming industrial and/or municipal biowaste into bioproducts – SICA (KBBE.2011.3.4-01)
19. Active nanomembranes/-filters/-adsorbents for efficient water treatment with stable or regenerable low-fouling surfaces (NMP.2011.1.2-3)
20. Intelligent testing strategies for nanomaterials impact and exposure – towards regulation and clustering of materials (NMP.2011.1.3-3)

(The serials are the area number of the call of FP7: <http://cordis.europa.eu/fp7/dc/index.cfm>)

4.4 その他、日本からの応募が可能なFP7公募

この他に、以下のFP7の公募が利用できます(毎号随時アップデートしております)。緑色のものは、特に日本からの参加をターゲットにした部分のある公募や日本からの参加者・機関に助成金が出る可能性のあるもの、ピンクのものは前号から新たに付け加わったものです。

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Capacities	FP7-INCO-2011-7	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Strengthening European research facilities in third countries - INCO-LAB 日本にある欧州の機関との共同研究所の利用を欧州の他の国にも広げるもの。
Capacities	FP7-INCO-2011-6	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Reinforcing Cooperation with Europe's neighbours in the context of the ERA
Capacities	FP7-REGIONS-2011-1	09 December 2010 at 17:00	Regions of Knowledge	
Capacities	FP7-SME-2011-CP	08 December 2010 at 17:00	Research for the benefit of SMEs	This call concerns the activity "Demonstration Action", for which the funding scheme "Collaborative Projects - CP" is used.
Capacities	FP7-SME-2011-BSG	08 December 2010 at 17:00	Research for the benefit of SMEs	This call concerns the activities "Research for SMEs" and "Research for SME Associations", for which the funding scheme "Research for the benefit of specific groups (in particular SMEs) - BSG" is used.
Capacities	FP7-INFRASTRUCTURES-2011-2	23 November 2010 at 17:00	Research Infrastructures	Link to the Infoday page: http://cordis.europa.eu/fp7/ict/e-infrastructure/events-20100611_en.html
Capacities	FP7-INFRASTRUCTURES-2011-1	25 November 2010 at 17:00	Research Infrastructures	
Capacities	FP7-REGPOT-2011-1	07 December 2010 at 17:00	Research Potential	
Capacities	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2011-1	20 January 2011 at 17:00	Science in Society	
Capacities	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2011-EVENTS	25 November 2010 at 17:00	Science in Society	
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-2	07 April 2011 at 17:00	Energy	See also SET-Plan (Technology Roadmaps and Implementation Plans of the European Industrial Initiatives)

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-EX-CHANGE	16 November 2010 at 17:00	Energy	Consortia consisting of a large number of partners for the exchange programme are encouraged. 非原子力エネルギー分野での人材交流(研究者のみでなくマネージャー等の交流も含む)
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-1	16 November 2010 at 17:00 26 April 2011 at 17:00 - Stage 2 (only for proposals retained at stage 1) (indicative deadline)	Energy	
Cooperation	FP7-OCEAN-2011	18 January 2011 at 17:00	Energy, Environment (including Climate Change), Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology, Transport (including Aeronautics)	Information Day on the call: Brussels, 9 September 2010 (prior registration is compulsory - see the InfoDay webpage for more details)
Cooperation	FP7-2011-NMP-ENV-ENERGY-ICT-EeB	02 December 2010 at 17:00	Energy; Environment (including Climate Change); Information and Communication Technologies; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	Energy-efficient Buildings - 2011
Cooperation	FP7-ERANET-2011-RTD	22 February 2011 at 17:00	Energy; General Activities; Health; Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies; Socio-economic sciences and Humanities; Transport (including Aeronautics)	A Pre-Proposal Check (PPC) service is available (see form in Additional documents) to those wishing to submit an ERA-NET/ERA-NET Plus action under the FP7 joint call. This service allows a proposer to check on the appropriateness of their proposed action and the eligibility of the proposal consortium. Please note that the pre-proposal check service, for the cut-off date of 22 February 2011, will remain open until 25 January 2011.
Cooperation	FP7-NMP-ENERGY-2011	25 November 2010 at 17:00	Energy; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-ENV-2011	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-ENV-2011-ECO-INNOVATION-OneStage	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-ENV-2011-ECO-INNOVATION-TwoStage	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-ENV-NMP-2011	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change); Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-2011-GC-ELECTROCHEMICAL-STORAGE	02 December 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change); Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies; Transport (including Aeronautics)	Sustainable automotive electrochemical storage

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-KBBE-2011-5-CP-CSA	25 January 2011 at 17:00	Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology	The call FP7-KBBE-2011-5-CP-CSA covers all topics published in the KBBE Work Programme 2011, except for the topic KBBE.2011.1.3-06Development of next generation European system for cattle evaluation (funding scheme «Research for the benefit of SME»), which is set up as a separate technical call FP7-KBBE-2011-5-SME.
Cooperation	FP7-KBBE-2011-5-SME	25 January 2011 at 17:00	Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology	
Cooperation	FP7-HEALTH-2011-single-stage	10 November 2010 at 17:00	Health	
Cooperation	FP7-2011-ICT-GC	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	ICT for Green Cars-2011
Cooperation	FP7-ICT-2011-FET-F	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	FET Flagship Initiative
Cooperation	FP7-2011-ICT-FI	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	Future Internet-2011
Cooperation	FP7-ICT-2011-C	12 March 2013 at 17:00 - For Batch_15 STREP and CSA 25 September 2012 at 17:00:00 - For Batch_14 STREP and CSA 10 April 2012 at 17:00:00 - For Batch_13 STREP and CSA 25 October 2011 at 17:00:00 - For Batch_12 STREP and CSA 17 May 2011 at 17:00:00 - For Batch_11 STREP and CSA	Information and Communication Technologies	The relevant specific Guides for applicants and Handbook are not yet available and will follow as soon as possible. Project proposals for Batch 11 are receivable from August 4th 2010
Cooperation	FP7-2011-NMP-ICT-FoF	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-CSA-5	01 February 2011 at 17:00	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-LARGE-5	04 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-EU-Japan	17 November 2010 at 17:00	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	超伝導分野の JST-FP7 共同公募の欧州側のもの
Cooperation	FP7-NMP-2011-SMALL-5	5 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-SME-5	6 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-SEC-2011-1	02 December 2010 at 17:00	Security	Security Research Call 4
Cooperation	FP7-SSH-2011-3	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Coordination and support actions
Cooperation	FP7-SSH-2011-1	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (large scale integrating research projects)

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-SSH-2011-2	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (small or medium scale focused research projects)
Cooperation	FP7-SPACE-2011-1	25 November 2010 at 17:00	Space	Space Call 4 SPA.2011.3.2-02 Facilitating access to space for small scale research missions は日本やアメリカからの参加があることを前提とした公募
Cooperation	FP7-TPT-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	
Cooperation	FP7-AAT-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	AAT.2011.7-20. Exploring opportunities and stimulating research cooperation with Japan にて、特に日本との連携を支援。ただし、助成金た得られるかは定かでなし。
Cooperation	FP7-SST-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	SUSTAINABLE SURFACE TRANSPORT (SST)-2011
Cooperation	FP7-GALILEO-2011-ENTR-1	16 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	
Cooperation	FP7-GALILEO-2011-GSA-1-a	16 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	the funding schemes CP (1-stage) and CSA-CA
Cooperation	FP7-SST-CIVITAS-2011-MOVE	12 April 2011 at 17:00	Transport Sustainable Surface Transport - MOVE	
Cooperation	FP7-ICT-2011-7	18 January 2011 at 17:00	ICT	
Ideas	ERC-2011-StG_20101109	09 November 2010 at 17:00	ERC	Life Sciences (Panels: LS1 – LS9) 若手の基礎科学研究者向け
Ideas	ERC-2011-StG_20101124	24 November 2010 at 17:00	ERC	Social Sciences & Humanities (Panels: SH1 – SH6) 若手の基礎科学研究者向け
People	FP7-PEOPLE-2011-IAPP	07 December 2010 at 17:00	Marie-Curie Actions	Marie Curie Industry-Academia Partnerships and Pathways (IAPP) 産学連携に関するマリーキュリープログラム。個人ではなく機関が応募
People	FP7-PEOPLE-2011-ITN	26 January 2011 at 17:00	Marie-Curie Actions	Marie Curie Initial Training Networks 2011 (ITN) 大学院生レベルを対象にしたもの。個人ではなく機関が応募。
People	FP7-PEOPLE-2011-NIGHT	12 January 2011 at 17:00	CSA for Researcher's Night	
People	FP7-PEOPLE-2011-IRSES	17 March 2011 at 17:00	Marie Curie International Research Staff Exchange Scheme (IRSES)	
People	FP7-PEOPLE-2011-COFUND	17 February 2011 at 17:00	Marie Curie co-funding of regional, national and international programmes	
People	FP7-PEOPLE-2011-CIG	08 March 2011 at 17:00	Marie Curie career integration grants	
Euratom	FP7-Fission-2011	7 April 2011 at 17:00	Nuclear Fission and Radiation Protection	
Cooperation	FP7-SPACE-2011-1	25 November 2010 at 17:00	Space	Space Call 4 SPA.2011.3.2-02 Facilitating access to space for small scale research missions は日本やアメリカからの参加があることを前提とした公募

何かご質問等ありましたら、J-BILATにお知らせくだされば、できる範囲でお答え致します。また、ご応募の後に採択された場合など、ぜひ体験をお寄せいただければと思います。次年度以降のセミナーやワークショップで、共有したいと思います。

5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い

プロジェクトに関する情報をお送りするために、データベースへの登録をお願いしております。プロジェクトウェブサイトからの登録 (<http://www.j-bilat.eu/registration>) に加え、メールやファックス (03-3221-6226) にて、以下の情報をお送りいただいても結構です。

登録フォーム / Registration form

Title (Mr. /Mrs./ Dr. /Prof.)		_____
Surname	姓	_____
Name	名前	_____
Position	役職	_____
Affiliation	所属	_____
Mailing address	所属先住所	_____
E-mail address	メールアドレス	_____
Telephone No.	電話	_____
Fax No.	ファックス	_____
Area of interest	興味のある分野	_____
Health	保健	<input type="checkbox"/>
Food	食料	<input type="checkbox"/>
Agriculture and Biotechnology	バイオテクノロジー	<input type="checkbox"/>
information and communication technologies (ICT)	情報通信技術	<input type="checkbox"/>
Nanosciences	ナノ科学	<input type="checkbox"/>
Nanotechnologies	ナノ科学及びナノテクノロジー	<input type="checkbox"/>
Materials and new production technologies	材料及び新生産技術	<input type="checkbox"/>
Energy	エネルギー(原子力を除く)	<input type="checkbox"/>
Environment (including climate change)	環境(気候変動を含む)	<input type="checkbox"/>
Transport (including aeronautics);	運輸(航空を含む)分野	<input type="checkbox"/>
Socio-economic sciences and the humanities	社会経済科学及び人文科学	<input type="checkbox"/>
Security and space research	宇宙・安全・原子力	<input type="checkbox"/>
Other	その他	<input type="checkbox"/>

6. 欧州連合加盟国紹介 その2 ルクセンブルク大公国

欧州連合加盟国、特に研究開発に関し、簡単な紹介をしています。第2回は、ルクセンブルク大公国です。

漢字表記: 盧森堡

面積: 2,586 平方キロ

主要都市: ルクセンブルク(首都)

人口: 49万人(2009)

公用語: ルクセンブルク語、フランス語、ドイツ語

宗教: カトリック87%他

経済: 名目GDP: 51.74 bn USD (2009)

産業構成GDP:

農業: 0.4%

工業: 13.6%

サービス業: 86.0%

科学・技術

国全体の研究開発支出(Gross Domestic Expenditure on R&D;GERD): GDPの1.58% (2007)

研究開発費の出所

政府 18.2% 民間 76.0%

(出典: CIA Factbook, Wikipedia, OECD他)

欧州連合(EU)の源流となる
欧州石炭鉄鋼共同体の原加
盟国であり、伝統的に重工業
が盛んだったが、鉄鋼業中心
から金融サービス業中心の

産業構造への転換に成功し、今日の欧州の金融センターとしての地位を確立した。しかし最近では、金融機関への過度な依存を脱するため、情報通信技術(ICT)、電子商取引、メディア、ロジスティックス、自動車部品、マテリアル開発やプラスチック工学、医療技術や環境技術などの新しい産業の支援にも力を入れている。

ルクセンブルクの研究活動に関しては、以下のFNRのサイトが詳しい。

<http://www.fnr.lu/>

現在、ルクセンブルク経済通商省 東京貿易事務所ではルクセンブルクin丸の内2010と題してルクセンブルクを紹介するイベントを開催中。次回11月30日のテーマはアートの旅。ご興味のある方は下記のサイトをご参照のこと。

<http://www.marunouchicafe.com/seminar/index.html#20101130>

日本におけるFP7情報サービス事業(J-BILAT)

プロジェクト名	BILAT in Japan	短縮名	J-BILAT
プロジェクト開始日	2010年1月1日	契約番号	244310
期間	36ヶ月		
予算	612,090ユーロ(内500,000ユーロがFP7からの助成金)		

17 of 17

本ニュースレターに含まれるFP7関連その他の情報は得られた時点で最新のものを正確にお伝えするよう努めておりますが、意見等は関係機関の公式見解を表すものではなく、また本文にEUの公式文書その他の日本語訳が含まれる場合にも、原典と同等の内容の正当性を保証するものではありません。本ニュースレターに関するご意見・ご要望・配信の停止を含むお問い合わせは、右記の担当、市岡までお寄せください。

Fabrizio Mura
プロジェクト代表
E-mail: [fabrizio.mura \[at\] eu-japan.gr.jp](mailto:fabrizio.mura[at]eu-japan.gr.jp)

市岡 利康
プロジェクトマネージャー (J-BILAT担当)
E-mail: [toshiyasu.ichioka \[at\] eu-japan.gr.jp](mailto:toshiyasu.ichioka[at]eu-japan.gr.jp)

日欧産業協力センター
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3
ラウンドクロス一番町4階
Tel: +81-(0)3-3221-6161
Fax: +81-(0)3-3221-6226



Bilat in Japan is co-funded under the 7th Framework Programme for RTD under the Capacities Programme - International Cooperation (Grant agreement No.: 244310)

© 日欧産業協力センター
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

編集: 市岡利康, Christian Roessel

Please click for TWITTER